

令和3年度「提案公募型事業」申請書類(2)
< 受託申請書 >

ふりがな 団体名	えるあーるしー L R C						
ふりがな 代表者名	ひろせ まさえ 廣瀬雅枝						
募集期間 (該当を○で囲む)	第1期 / 第2期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	●	【○】心地よく安心な港まちで暮らす					公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
	●	【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う					
		【□】みんなと港まちを創る					
提案事業名	パルス(みなと中高生向けスペース)						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	5	9	0	1	0	0	円
期間 (準備～事業終了日)	令和 3年 6月 1日 ~ 令和 4年 2月 13日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

<p>【事業の目的】</p> <p>①子どもたちが安心できる居場所の確保。 ②みなとまちだからこそ出会える多様な大人と交流できる場の提供。 ③子どもと地域の繋がりを作る。 ④地域や分野を超えた幅広い層からの関心を集めるコンテンツづくり。</p> <p>【見込まれる成果】</p> <p>現代の地域社会の中には、子どもがお金を使わずに安心して出かけられる場所が限られている。港区は名古屋市内においての出生率が最も低く、非行相談も多いという。非行には深夜徘徊、家出などが含まれており、子どもたちが家庭の外に居場所を求めている実態がうかがえる。近年、不登校の相談も増え続けており、助けを求める場所がネット以外にない子どもも多い。大人から見えづらいネット世界に依存する前に家庭、学校以外の第三の場所が必要だと考える。オープンに交流できる場所は見守りにもなり、大人と子どもの両者にとってのセーフティネットとなる。子育てをしやすいまちづくりのきっかけにもなるだろう。</p> <p>一方、現在の西築地学区には、港まちづくり協議会の活動を中心に音楽やアート、社会貢献やボランティアなどに関わる多様な大人が集まる場所になりつつある。そうした場所に、子どもの居場所を設置することで、子どもたちは普段では出会えない大人たちと繋がる事ができる。その交流を通して様々な生き方を知ってもらう機会を作りたい。</p> <p>NUCOでの活動を通して地域との繋がり的重要性を強く感じた。ふと生じた不安や疑問は近所の方との交流で解消できた。このまちで働いてきた方々、その歴史を見てきた方々から多くのことを教わった。義務教育以降に所属が無くなる子どもたちに縦繋がり、安心できる居場所をつくる。</p> <p>港区の課題に対し、西築地学区の特徴を生かしたアプローチは、話題性を呼び、この地域のPRにもなると予想される。またより広く知られることで、この居場所を本当に必要とする人にもサービスが届けられる。</p>
--

(2) 事業の概要

中高生に向けた居場所、スペースの運営。
スペースでは、軽食の提供、学習サポート、レクリエーション等を実施する。
またアーティスト、まちの人を迎えてのワークショップを開催する。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

中高生を対象とした放課後に利用できるオープンスペースの運営。

中学生～18歳までが対象。登録制。

基本的に子どもの意思を尊重し自由に行動してもらう。

軽食を食べたり、学習、レクリエーションができる環境の提供。

学習サポート、進路、就労相談も行う。

アーティストやまちの人をゲストにワークショップも常時開催。

あくまで交流を目的としたワークショップであり、作品完成は問わない。

外出困難である子どもと Zoom を利用した交流も企画していく。

※新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、検温確認などはもちろんのこと、飲食時にもディスタンスや飛沫対策を徹底する。

参加費については検討中。

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

場所：NUCO

時間：毎月隔週金曜日。17～20時。

3. 想定参加者人数・参加者層

想定参加者人数：5～10名程度×17日＝85～170名程度

想定参加者層：中学生～18歳なら誰でも参加可能。

(例) ・自宅学習が困難。勉強する場所がほしい。

・学校以外に友達がほしい。

・進路相談に乗ってくれる大人がほしい。

・食事をみんなで食べたい。

・暇つぶしがしたい...等の願望がある子ども達。

(4) 広報手段

児童相談所、学区の社会福祉協議会や民生、各福祉系 NPO 法人へ事前に挨拶と相談に回る予定。

そのほか HP、チラシ、twitter、instagram などを活用する。

活動開始後は前期（6～9月）後期（10月～1月）を報告書にまとめる。

興味のある家庭、関係機関に届きやすいパンフレットを作成。

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

5月 必要な物品の準備。アーティストの選定。システム、ルールの確認。広報、周知活動。

6月 運営スタート。

開催日

前期（6/11、6/18、7/9、7/23、8/13、8/27、9/10、9/24）

後期（10/8、10/22、11/12、11/26、12/10、12/24、1/14、1/28）

2/11（最終日）

※事業実施にあたっては、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、港まちづくり協議会とよく相談しながら進める こととします。

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

現場スタッフ2名：入会手続き、事務、ワークショップ進行、軽食準備など。

アルバイトスタッフ1名：学習やワークショップのサポート。

外部講師1名：子どもと会話や制作を通して交流。

ワークショップでは地域の方をゲストに迎えた企画も開催していく。

(料理教室、手芸教室など)

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

- ・スタッフは児童支援の活動に別事業でも携わっており、様々な児童福祉団体と連携が可能。子どもが安心して利用できる居場所は各地域不足している為、周知すれば反応は大きいと予想される。
- ・アーティストが行うワークショップは MAT,Nagoya に協力を依頼する。多様なアーティストとの交流はみなとまちだからこそ可能な企画。
- ・地域の方との交流は港まちづくり協議会のネットワークで幅広い人脈が期待できる。

(2) 積算の妥当性

- ・ものに頼らず会話や共有する時間を第一に考え、物品費は最低限に抑えた。
- ・食材はフードバンクや寄付も積極的に検討する。
- ・子どもに関わる企画の為、安全確保の為の人件費、信頼できる講師への謝金は必要と考える。

(3) 公益性・社会貢献性

- ・子どもが抱える困難の解決には家庭や学校以外の人間関係や第三の居場所の存在が重要な要素だと感じている。楽しんで来てもらえるオープンスペースが自然と福祉に繋がる環境は子どもにとっても地域にとっても安心して繋がる。
- ・港区が抱える社会問題(少子化、非行、不登校、貧困問題)を身近に感じてもらい、まち全体の問題として共有する。知らないままでは怖いと感じることも、直接交流することで親身になって考えるきっかけが生まれる。

(4) テーマとの整合性

- 【○】 心地よく安心な港まちで暮らす
家族や学校の手を離れても安全な場所、子にも親にもやさしい場所を目指す。
まずは子どもに安心して楽しんでもらうことを最優先に、ワークショップなど多世代との交流を通して興味を外へ広げていきたい。地域とオープンな関係を築いてまち全体に愛着を持ってもらいたい。
- 【△】 魅力的でにぎやかな港まちに集う
アートの主要スポットであり観光地という土地の魅力に加え、アーティストが持つ気概やユーモア、地域の方の懐の深さなど人間性もこのまちの魅力。子どもにまちに来て直接感じてほしい。

(5) 将来性

提案公募型事業において実績を積み、将来的には法人格を取得し名古屋市の居場所事業の参入も目指す。チャレンジで終わらせず、ここをスタートに小学生対象の居場所、アートスクールの開校も視野に、子どもが安心して遊びに行ける場所を定着させる。
継続する事で各方面への繋がりを強くしていく。

(1) 支出の部

項目	金額(円)						
①外部講師謝金		1	6	0	0	0	円
②旅費交通費			5	3	3	8	円
③会議費			4	5	0	0	円
④物品購入費			3	0	0	0	円
⑤借上料			5	1	0	0	円
⑥保険料			1	0	0	0	円
⑦人件費		1	8	9	7	2	円
⑧委託外注費			1	0	0	0	円
⑨通信費			1	0	0	0	円
⑩印刷製本費			1	1	0	0	円
⑪事務費等			2	0	0	0	円
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)		5	9	0	1	0	円

- ※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。
- ※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。
- ※消費税・振込手数料なども考慮してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
①外部講師謝金	・長期的に関わってもらった講師1名 80,000円(交通費含む) ・単発でのワークショップ講師複数名 80,000円(交通費含む)
1 6 0 0 0 0 円	
②旅費交通費	スタッフ1名1日往復 1,840円(西岐阜～築地口)×17日間=31,280円 スタッフ1名1日往復 620円(名古屋大学～築地口)×17日間=10,540円 アルバイトスタッフ1日往復最大 680円(名古屋市営地下鉄最大料金で計算)×17日間=11,560円
5 3 3 8 0 円	
③会議費	1回につき1000円。毎月zoomにて実施。 スタッフ5名×9ヶ月×1000円=45,000円
4 5 0 0 0 円	
④物品購入費	物品費 20,000円(常時置いておくゲーム、画用紙、ペン、ワークショップに必要な道具。) 食材費 10,000円(お菓子、飲み物、地域の方のイベント費など。)
3 0 0 0 0 円	
⑤借上料	NUCO借上料 1日3,000円×17日間=51,000円
5 1 0 0 0 円	
⑥保険料	社会福祉協議会 福祉保険 1日1名17～42円×14名(参加者10名、スタッフ4名)×17日間=4,046円～9,996円 ワークショップの内容によって変動する事も考慮し、10,000円で計算。
1 0 0 0 0 円	
⑦人件費	一律時給930円×4時間×17日間×3名=189,720円
1 8 9 7 2 0 円	
⑧委託外注費	パンフレット制作デザイン料
1 0 0 0 0 円	
⑨通信費	チラシ送付切手代(50件)
1 0 0 0 0 円	
⑩印刷製本費	基本のチラシ1000部3000円 活動報告パンフレット(6～9、10～1月の2期に分けて活動報告をまとめ周知活動に使用する。)200部4000円×2回=8,000円
1 1 0 0 0 円	
⑪事務費等	文具、感染症対策グッズ、個人情報扱うファイル、日誌、子どもに渡す登録証など
2 0 0 0 0 円	
総支出合計=A	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください
5 9 0 1 0 0 円	

申請書作成時の注意

- 申請書作成時には、下のチェックリストを参考にして、所定の記入欄に不足なく記入・添付してください。
- パソコンで作成する場合は、申請書の様式の変更、ページの増設をしないで下さい。又、ページの欠落に注意してください。
- 手書きの場合は読みやすく記入してください。

点検欄	申請書項目・添付書類
<input type="radio"/>	1 「提案事業の計画」(1～3ページ)は具体的に事業の内容をイメージできる記載となっているか。
<input type="radio"/>	2 申請書に記入もれはないか。「別紙記入」としていないか。(全てのページ)
<input type="radio"/>	3 事業の収支計画(5・6・8ページ)は、「提案事業」についての収支計画であるか。(団体等の活動全体の収支計画を記入していないか)、計算違いはないか。希望金額(1ページ)と事業の収支計画に計上した金額が合致しているか。
<input type="radio"/>	4 期間に誤りはないか。所定の期間の活動か。(1ページ)
<input type="radio"/>	5 相談窓口を利用したか。(仮受付をしているか)

提出書類チェック

点検欄	種類
<input type="radio"/>	1 令和3年度「提案公募型事業」受託申請書類(1) <団体紹介書> ※片面印刷 ※捺印したかどうかご確認ください。
<input type="radio"/>	2 令和3年度「提案公募型事業」受託申請書類(2) <受託申請書> ※片面印刷
<input type="radio"/>	3 [対象経費明細のエクセル様式を使用する場合] 対象経費明細(様式2)
<input type="radio"/>	4 [団体の場合] 団体等の定款・会則・規約または寄附行為(財団法人の場合)の写し ※片面印刷
<input type="radio"/>	5 [参加費を徴収する事業の場合] 様式1【徴収される参加費に相当する事業費】

(様式1)	参加費を徴収する事業の方は以下の項目も必ず記入し、ご提出ください。
-------	-----------------------------------

【徴収される参加費に相当する事業費】

(1) 収入の部

徴収する参加費の内容	単価(円)	人数(人)	合計(円)
収入合計			

(2) 支出の部

品目・内容	単価(円)	個数/人数	合計(円)
支出合計			

参加費を徴収する場合の注意点

- 参加費は、事業実施において必要な材料費等の実費分のみとします。参加費で充当される予定の支出品目については、委託金の中に含めて請求することはできませんので、ご注意ください。(充当する予定の支出項目については、上記「(2)支出の部」に記入してください。)
- 収入に関する証明書を精算時に提出していただきます。参加者リストを作成するなどして、人数等が客観的に把握できる資料を作成してください。